

動物から人に感染する病気は「人獣共通感染症（ズーノーシス）」と呼ばれ、ペットや野生動物が感染源となっています。2週間ほど前に台湾で発生した「狂犬病」もその一つ。そのほか、主なものは、ペットの糞便から感染する「犬・猫回虫症」▷猫の糞便などから妊婦に感染すると胎児に障害をもたらす「トキソプラズマ症」▷犬・猫の口の中にいる常在菌で、人に感染すると皮膚の化膿や呼吸器疾患などを起こす「パスツレラ症」▷皮膚に感染するカビで脱毛や皮膚炎を起こす「糸状菌症」▷鳥からうつる呼吸器疾患「オウム病」—などがあります。

感染経路は、経口（なめら

あんしん！ペットライフ

16

ペットからうつる病気

れたりして病原体が口から入る）▷接触（抱っこなど）▷空気（せきやくしゃみで病原体が空気中に飛び散り、吸い込む）▷媒介昆虫（蚊やダニなどが媒介する）▷咬傷（咬まれたりひっかかれたりした傷口から感染）—などです。

予防方法は、同じスプーンなど使って食べ物を与えたり、キスをしたりしない▷糞便処理やトイレ掃除をした後の手洗い▷ペットの飼育環境の掃除▷ペットと家族の定期的な健康診断▷ノミやダニなどの外部寄生虫の予防—などです。

また、米国を中心にサルモ

ネラ感染によるペットフードのリコールが発生し、2012年には人間への感染例も報告されました。日本でも念のため、ペットフードを触った後もよく手を洗い、開封後の保存は他の容器に移し替えず、パッケージをそのまま利用する、などの注意が必要です。

ご家族の中で体の弱い方や年寄り、乳幼児、妊婦がいる場合は、特に注意が必要です。ご家族とペットがともに安全で健康に暮らすために、ズーノーシスの知識を身に付けてください。

（アニコム損保

獣医師 井上舞）